

Windows 用コマンドリファレンス

Windows では Moverio に搭載しているディスプレイやオーディオの機能を専用のコマンドで制御します。専用のコマンドは、Windows 標準の COM ポートアクセス API である System.IO.Ports.SerialPort を使用します。専用のコマンドの種類や対応機種は以下の表を参照してください。

コマンドフォーマット	引数	戻り値	説明	BT-35E/30E	BT-30C	BT-40	BT-45C
setbright <bright>	0~20 : 輝度レベル 50 : 自動調光 ON	OK : 成功 NG1~4 : エラー	ディスプレイ輝度調整	●	●	●	●
getbright	なし	0~20 : 輝度レベル 50 : 自動調光 ON NG1~4 : エラー	ディスプレイ輝度取得、輝度調整モード取得	●	●	●	●
set2d3d <dimension ID>	0 : 2D 表示 1 : 3D 表示	OK : 成功 NG1~4 : エラー	2D/3D 表示モード切替	●	●	●	●
get2d3d	なし	0 : 2D 表示 1 : 3D 表示 NG1~4 : エラー	2D/3D 表示モード取得	●	●	●	●
getfimver	なし	バージョン : 成功 NG1~4 : エラー	FW バージョン取得	●	●	●	●
setvol <volume>	<BT-35E/30E> 0~15 <BT-30C> 0~20:Limit on 0~27:Limit off	OK : 成功 NG1~4 : エラー	イヤホン音量設定	●	●		
getvol	なし	<BT-35E/30E> 0~15 : 成功 NG1~4 : エラー <BT-30C> 0~20:Limit on : 成功 0~27:Limit off : 成功 NG1~4 : エラー	イヤホン音量取得	●	●		
enableLoud <go/stop>	go:音量上限解除 stop:音量上限設定	OK : 成功 NG1~4 : エラー	イヤホン出力最大音量の上限モード切替		●		
enableautobright <state>	0 : 自動調光 OFF 1 : 自動調光 ON	OK : 成功 NG1~4 : エラー	輝度調整モード切替			●	●
getautobright	なし	0 : 自動調光 OFF 1 : 自動調光 ON	輝度調整モード取得			●	●
setmute <state>	0 : ディスプレイ点灯 1 : ディスプレイ消灯	OK : 成功 NG1~4 : エラー	ディスプレイ表示ミュート状態切替			●	●
getmute	なし	0 : ディスプレイ点灯 1 : ディスプレイ消灯	ディスプレイ表示ミュート状態取得			●	●
enableautosleep <state>	0 : 自動スリープ OFF 1 : 自動スリープ ON	OK : 成功 NG1~4 : エラー	ヘッドセット静止検知による表示ミュートの有効/無効切替			●	●

getautosleep	なし	0：自動スリープ OFF 1：自動スリープ ON	ヘッドセット静止検知による表示ミュートの有効/無効取得			●	●
enableusersleep <state>	0：ユーザースリープ OFF 1：ユーザースリープ ON	OK：成功 NG1～4：エラー	ヘッドセットタップ検知による表示ミュートの有効/無効切替			●	●
getusersleep	なし	0：ユーザースリープ OFF 1：ユーザースリープ ON	ヘッドセットタップ検知による表示ミュートの有効/無効取得			●	●
setDisplaydistance <pixel sift>	-32～256：画素シフト量	OK：成功 NG1～4：エラー	ディスプレイ表示距離設定			●	●
getDisplaydistance	なし	0～20：輝度レベル	ディスプレイ表示距離取得			●	●
getsystemstat	なし	1：初期化中 2：映像信号なし 3：映像表示中 4：ディスプレイ消灯 5：リカバリー中 6：温度異常	システム状態取得			●	●
getdisptemp	なし	温度：成功 NG1～4：エラー	パネル温度取得			●	●
getsystemtemp	なし	温度：成功 NG1～4：エラー	MCU 温度取得			●	●
getdevname	なし	機種名：成功 NG1～4：エラー	製品名取得			●	●
gethserial	なし	ヘッドセットシリアル：成功 Error:<理由>：エラー	ヘッドセットシリアル番号取得			●	●